

AD-5693

熱中症指数モニタ 取扱説明書（保証書付）

ご注意

- この取扱説明書は、株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- 当社では、本製品の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、前項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

WBGT (Wet Bulb Globe Temperature) とは、熱中症を含む暑熱環境における人が受ける熱ストレスを評価する指数です。

1WMPD4001913

保証規定

万が一、本製品を用いたことにより損害が生じた場合の補償は本製品の購入代金の範囲とさせていただきます。また、次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

- 誤ったご使用または取扱いによる故障または損傷。
- 保管上の不備によるもの、及びご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
- 不適切な修理改造および分解、その他の手入れによる故障または損傷。
- 火災、地震、水害、異常気象、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にご購入日、保証期間、ご購入店名などの記載の不備あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご使用後の外表面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
- 保証書の再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書	
この製品が、取扱説明書にもとづく通常のお取扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じた場合は、保証期間内に限り無償にて修理・調整をさせていただきます。	
品名	熱中症指数モニタ
型名	AD-5693
お客様お名前	様
ご住所	□□□-□□□□
ご購入日	
ご購入店（ご購入店名を必ずご記入ください。）	
保証期間	ご購入日より1年間
	
本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 (ダイヤツ・ニッセイ池袋ビル 5F) TEL. 03-5391-6126 FAX. 03-5391-6129	

1. はじめに

このたびは壁掛・卓上型熱中症指数モニタ AD-5693 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、日常生活における熱中症予防のための指数を簡単に知るためのものです。本製品は黒球(温度)を使用しない製品で、本製品が表示している WBGT 値は日本生気象学会の「日常生活における熱中症予防指針」Ver. 1, 2007 年の「図 1.WBGT と気温、湿度との関係」に基づいて、気温と湿度より求めています。本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、保証書も兼ねておりますので、お読みいただいた後も大切に保管してください。

警告

本製品は熱中症発症を完全に防止できる製品ではありません。熱中症の発症は、
 温度、湿度、輻射熱などの温熱環境、
 性別、年齢、既往歴や健康状態などの個人差、
 運動、労働、日常生活活動などの状況、
 など様々な要因が作用します。
 ご使用にあたっては、本製品の特性をよくご理解の上、
 あくまで目安としてお使いください。
 本製品は室内または日陰のある室外に限定して、ご使用ください。

2. 安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

注意事項の表記方法

本取扱説明書の中に記載されている注意事項は、下記のような意味を持っています。

警告	この表記は、誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この表記は、誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

この機器を操作するときは、いつも下記の点に注意してください。

注意

- 修理**
ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか、機器を損傷及び機能を消失する恐れがあります。
- 機器の異常**
機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障」中であることを示す貼紙を機器につけるか、あるいは誤って使用されることのない場所に移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

3. 開梱／点検

3-1. 開梱

開梱時に下記の品物がそろっているか確認してください。

- 壁掛・卓上型熱中症指数モニタ AD-5693 1体
- 付属品
単3形電池（モニタ用） 3個
取扱説明書 1冊

3-2. 点検

本製品は出荷前に十分な検査を行っています。

機器を受け取ったら、輸送中に破損していないか確認してください。もし破損がありましたら、お買い上げいただいた店、または最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

注意：本製品は精密機器ですので、丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えることと故障の原因となります。

4. 使用上の注意

4-1. 使用環境

長時間直射日光を受ける場所や、密閉された車内、ストーブなどの暖房器具の近くではご使用にならないでください。本製品の動作温度範囲は0～55℃です。この温度範囲を超えて使用した場合は故障の原因になります。

暑い所から寒い所へ、また寒い所から暑い所への急な移動は避けてください。急激な温度変化により、内部に水滴が付くことがあります。

湿気やほこりの多い所では、故障の原因になります。本製品の動作湿度範囲

は90%RH 以下です。

また誤って内部に水が入ると、故障の原因になります。本製品の周辺には水の入ったものを置かないでください。

強い磁場や電界のある場所(テレビやIH調理器具、電子レンジなど)では、機器に影響を与える恐れがあります。そのような場所でのご使用は避けてください。危険防止のため、引火性のガスがある場所でのご使用は避けてください。

4-2. 機器の設置

本製品は風通しのよい場所に壁掛またはスタンドで設置してください。また、他のものと離して設置してください。本体内部の温度が上昇し、故障の恐れがあります。

注意

ストーブなどの熱源の近くや、強い日射を受けて暖かくなった壁面に近づけて設置すると、正確な測定ができません。そのような場所には、お使いにならないでください。
 また、窓ガラス越しに日射が当たるような場所でのご使用もおやめください。

注意

本体は防水構造になっておりません。雨や水がかかる様な場所ではご使用にならないでください。
 本体の動作温度が55℃以上になるような場所への設置はできません。
 アスファルトやコンクリートの上では、気象庁が公開している WBGT 値よりも測定値は高くなります。

5. 各部の説明

5-1. 前面

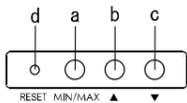
	名称	解説
①	電源ボタン	電源のオン/オフで使用します。
②	機能セットボタン	アラーム設定、時刻設定で使用します。
③	液晶表示部	WBGT 指数/気温(TA)/相対湿度(RH)/時刻の4項目が表示されます。
④	LED アラームランプ	アラーム動作時に点灯します。

	表示	解説
A	WBGT	WBGT 指数を表示します。
B	TA	気温(TA)の測定値を表示します。
C	RH	相対湿度の測定値を表示します。
D	時計	時刻を表示します。
E	MAX	WBGT 指数/気温/相対湿度の最高値を表示します。
F	MIN	WBGT 指数/気温/相対湿度の最低値を表示します。
G	アラームマーク	アラームモード時表示されず。アラーム動作時点滅します。
H	電池残量マーク	電池電圧が低下した時に表示されます。

5-2. 背面

	名称	解説
⑤	操作ボタン	アラームや時刻設定、測定値の最高値/最低値の表示などに使用します。
⑥	スタンド	卓上で使う場合にスタンドを出します。
⑦	壁掛け穴	壁掛けで使う場合に使用します。
⑧	電池収納部	単3電池3個を使用します。

操作ボタン



	名称	解説
a	MIN/MAX ボタン	電源オンしてからの、WBGT 指数/気温/相対湿度の最低値(MIN)と最高値(MAX)を表示します。
b	▲ボタン	アラームや時刻の設定で使用します。
c	▼ボタン	アラームや時刻の設定で使用します。
d	リセットスイッチ	本機の動作に異常が見られた場合に使用します。時刻、MIN/MAX(最低値/最高値)の記憶内容のリセットを行います。アラーム設定はクリアされません。

6. 操作方法

6-1. 電源を入れる

電源ボタン①を押して電源を入れます。

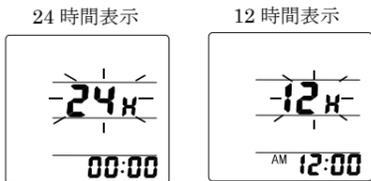
6-2. 測定

電源ボタン①を押すと電源が入り、「ピッ」つとブザー音とLEDアラームランプが点灯し、WBGT 指数、気温(TA)、相対湿度、時刻が表示されます。なお、電源オンしたときにアラーム設定値を越えている場合には、12秒間ブザー音とLEDアラームランプが点灯します。電源ボタン①を2秒以上押して電源を入れた時は、ブザー音とLEDランプの点灯はありませんが、故障ではありません。

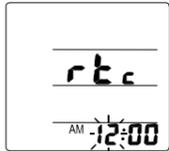
注意：初めて電源を入れたときや、本機をリセットしたときは時刻を合わせてください。

6-3. 時刻設定

- 電源を入れた状態で、表面の機能セットボタン②と裏面の▼ボタン(c)を同時に2秒以上押し続けてください。
- 裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押すことにより、24時間表示/12時間表示の選択が出来ます。どちらかを選択し、次へお進みください。



- 表面の機能セットボタン②を1回押すと、時の桁が点滅しますので、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、時の設定をします。



- 表面の機能セットボタン②をもう1回押すと、分の桁が点滅しますので、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、分の設定をします。



- もう一度、表面の機能セットボタン②を押すと、時刻設定が終了し、通常の画面に戻ります。

6-4. アラーム設定

本製品は、WBGT指数/気温/相対湿度表示値に対し上限/下限アラーム機能を装備しています。

6-4-1. 下限アラーム動作

下限アラーム機能とは、アラーム設定値が各表示値を下回ると、表示左のアラームマークが点滅し、ブザー音&LEDランプでお知らせするものです。ブザー音&LEDランプは、最初に設定値を下回った時に12秒間、その後は10秒に1回ブザー音&LEDランプでお知らせします。アラームマークは設定値を下回っている間は、ずっと点滅しています。

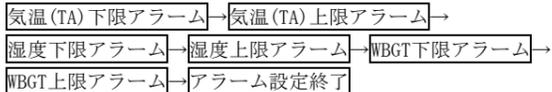
6-4-2. 上限アラーム動作

上限アラーム機能とは、アラーム設定値が各表示値を上回ると、表示左のアラームマークが点滅し、ブザー音&LED ランプでお知らせするものです。ブザー音&LED ランプは、最初に設定値を上回った時に1 2秒間、その後は1 0秒に1回ブザー音&LED ランプでお知らせします。アラームマークは設定値を上回っている間は、ずっと点滅しています。

6-4-3. アラーム設定

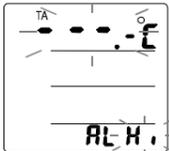
アラーム設定は以下の手順で行います。

- 電源の入った状態で表面の機能セットボタン②を2秒以上押し続けると、右図のようなアラーム設定画面になります。アラーム設定画面は、機能設定ボタン②を押すたびに以下のように切り換わります。



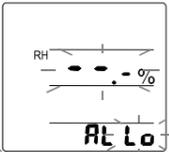
注意：表示例の設定値は一例ですので、実際と異なる場合があります。

- 気温(TA)の下限アラーム設定
気温(TA)の下限アラーム設定画面(左上)中に、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、アラーム設定してください。また、設定されている気温下限アラーム設定値をクリアしたい場合は裏面のMIN/MAXボタンを押すと、アラーム設定値が全て消去されます。



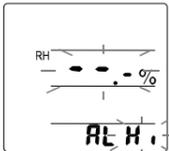
気温(TA)の下限アラームを設定しない場合は、上述の方法でアラーム設定値をクリアし、機能セットボタン②を押してください。気温(TA)上限アラームの設定画面に切り換わります。また、ここでアラーム設定を終わらせたい場合は、電源ボタン①を押し、電源を入れ直してください。これで、アラーム設定が完了します。

- 気温(TA)上限アラームの設定
気温(TA)の上限アラーム設定画面(左)中に、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、アラーム設定してください。また、設定されている気温上限アラーム設定値をクリアしたい場合は裏面のMIN/MAXボタンを押すと、アラーム設定値が全て消去されます。気温(TA)の上限アラームを設定しない場合は、上述の方法でアラーム設定値をクリアし、機能セットボタン②を押してください。湿度下限アラームの設定画面に切り換わります。また、ここでアラーム設定を終わらせたい場合は、電源ボタン①を押し、電源を入れ直してください。これで、アラーム設定が完了します。

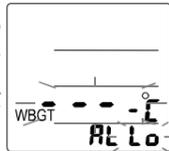


- 湿度下限アラームの設定
湿度の下限アラーム設定画面(左)中に、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、アラーム設定してください。また、設定されている湿度下限アラーム設定値をクリアしたい場合は裏面のMIN/MAXボタンを押すと、アラーム設定値が全て消去されます。湿度の下限アラームを設定しない場合は、上述の方法でアラーム設定値をクリアし、機能セットボタン②を押してください。湿度上限アラームの設定画面に切り換わります。また、ここでアラーム設定を終わらせたい場合は、電源ボタン①を押し、電源を入れ直してください。これで、アラーム設定が完了します。

- 湿度上限アラームの設定
湿度の上限アラーム設定画面(左)中に、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、アラーム設定してください。また、設定されている湿度上限アラーム設定値をクリアしたい場合は裏面のMIN/MAXボタンを押すと、アラーム設定値が全て消去されます。湿度の上限アラームを設定しない場合は、上述の方法でアラーム設定値をクリアし、機能セットボタン②を押してください。WBGT下限アラームの設定画面に切り換わります。また、ここでアラーム設定を終わらせたい場合は、電源ボタン①を押し、電源を入れ直してください。これで、アラーム設定が完了します。



- WBGT下限アラームの設定
WBGTの下限アラーム設定画面(左)中に、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、アラーム設定してください。また、設定されているWBGT指数下限アラーム設定値をクリアしたい場合は裏面のMIN/MAXボタンを押すと、アラーム設定値が全て消去されます。WBGT指数の下限アラームを設定しない場合は、上述の方法でアラーム設定値をクリアし、機能セットボタン②を押してください。WBGT上限アラームの設定画面に切り換わります。また、ここでアラーム設定を終わらせたい場合は、電源ボタン①を押し、電源を入れ直してください。これで、アラーム設定が完了します。



- WBGT上限アラームの設定
WBGTの上限アラーム設定画面(左)中に、裏面の▲ボタン(b)か▼ボタン(c)を押して、アラーム設定してください。また、設定されているWBGT指数上限アラーム設定値をクリアしたい場合は裏面のMIN/MAXボタンを押すと、アラーム設定値が全て消去されます。WBGT指数の上限アラームを設定しない場合は、上述の方法でアラーム設定値をクリアし、機能セットボタン②を押してください。通常の画面に戻り、アラーム設定が完了します。



6-4-4. ブザー音のクリア

アラーム動作中に、機能セットボタン②を押すと、右のようにOffと表示され、ブザー音のみ止めることが出来ます。この時、LED ランプは通常のアラーム動作と同様に点灯します。

再度ブザー音を鳴らすようにするには、もう一度機能セットボタン②を押してください。右のようにOnと表示されます。

6-5. 最高値/最低値表示

本製品では、電源を入れてからのWBGT指数/気温/湿度の最高値と最低値を記憶する機能があります。裏面のMIN/MAXボタンを1回押すと、左下にMINと表示され、それぞれの最低値が表示されます。



裏面のMIN/MAX ボタンをもう1回押すと、左下にMAXと表示され、それぞれの最高値が表示されます。



記憶された最高値/最低値をクリアするには、裏面のMIN/MAXボタンを2秒以上押ししてください。表示が全点灯し、記憶された最高値/最低値がクリアされます。注意：電源スイッチ①で電源をオフしたり、本機をリセットすると記憶された最高値/最低値がクリアされますのでご注意ください。

6-6. リセット

表示や動作がおかしくなった場合には、裏面のリセットボタンを押してください。または、電池を外して、1分程度放置し、電池を入れて電源を入れてください。上記の操作を行うと、時刻及び記憶された最高値/最低値はクリアされます。アラーム設定値はクリアされません。注意：リセットボタンを押すと、電源が切れますが故障ではありません。

6-7. エラー表示

- E02：測定値が測定可能範囲以下になっています。しばらく経っても復帰しない場合は、センサが破損している恐れがあります。
- E03：測定値が測定可能範囲以上になっています。しばらく経っても復帰しない場合は、センサが破損している恐れがあります。
- E04：センサの破損、もしくは内部回路が破損している恐れがあります。
- E11：湿度センサが破損している恐れがあります。
- E32、E33：内部回路が破損している恐れがあります。

7. メンテナンス

7-1. 電池交換

表示の右にローバッテリー表示()が出たら、電池収納部のカバーを矢印方向へスライドさせ、外してください。新品の単3形電池3個と交換してください。交換の際、極性にご注意ください。



電池使用上の注意

- 付属の電池はモニター用です。電池寿命が短い場合があります。本製品を長時間ご使用にならない場合は、電池を取り外して保管してください。
- 電池は必ず指定のもの(単3乾電池3個)をご使用ください。
- 電池は(+)、(-)の向きを間違えないようにセットしてください。
- 破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- 電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 環境保全のため、使用済電池は、市町村の条例に基づいて処理するようお願いいたします。

7-2. 本製品のお手入れ

本製品を清掃する際には、濡らした柔らかい布を固く絞り、軽く拭いてください。清掃の際に、スプレーなど使用すると故障の原因になります。また、シンナー、ベンジン類似の揮発性溶剤、または研磨剤などは使用しないでください。

8. WBGT 指数について

以下は、日本生気象学会「日常生活における熱中症予防の指針」からの抜粋です。

8-1. 日常生活における熱中症予防指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28~31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

(ここでのWBGTはその日の最高気温時の気温と湿度から推定されるものです。)

8-2. 日常生活における熱中症予防指針の解説

8-2-1. 注意すべき生活活動強度の目安

注意すべき生活活動強度の目安

各温度基準域における注意すべき生活活動強度の目安を下表に示します。軽い活動強度はRMR：2.5未満、3.0 METs未満、250 kcal/h未満、290 W未満、中等度の活動強度はRMR：2.5~6.0、3.0~6.0 METs、250~490 kcal/h、290~570 W、強い活動強度はRMR：6.0以上、6.0 METs以上、490 kcal/h以上、570 W以上に相当します。

以上のように生活活動強度を強度別に区分しましたが、熱中症の発生は作業強度だけでなく、作業時間によっても大きく影響されます。したがって、運動や労作をする場合、軽い活動強度であっても、定期的に休息を取り入れ、水分を補給する必要があります。

軽い	中等度	強い
(RMR：2.5未満) (3.0 METs未満) (250 kcal/h未満) (290 W:未満)	(RMR：2.5~6.0) (3.0~6.0 METs) (250~490 kcal/h) (290~570 W)	(RMR：6.0以上) (6.0 METs以上) (490 kcal/h以上) (570 W:以上)
休息・談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫(縫い、ミシンかけ) 自動車運転 机上事務 乗物(電車・バス立位) 洗濯 手洗い、洗顔、歯磨き 炊事(料理・かたづけ) 買い物 掃除(電気掃除機) 散歩/分速60~70m 家庭菜園、草むしり 体操(軽め) 入浴 ゲートボール*	自転車(平地) 時速10~15km 歩行/分速80~100m 掃除(はく・ふく) 布団あげおろし 体操(強め) 階段昇降 ウォーキング /分速100~120m 床磨き 垣根の刈り込み 芝刈り* ゴルフ* 野球*	ジョギング サッカー テニス 自転車(登り) 時速10km リズム体操 卓球 バドミントン 登山 剣道 水泳(平泳) バスケットボール 縄跳び マラソン

*野球やゴルフ、ゲートボールは活動強度は低い運動時間が長いので要注意。

RMR (Relative metabolic rate)：エネルギー代謝率と呼ばれ、活動に要したエネルギー量の基礎代謝量に対する比率を表わす。
METs (Metabolic equivalent)：代謝当量と呼ばれ活動に要したエネルギー量の安静時代謝量に対する比率を表わす。
kcal/h：1時間あたりの消費エネルギー量。
W：ワット 活動に要したエネルギー量

8-3. 水分・塩分補給の目安

- 日常生活における水分補給：基本的に、不感蒸泄や発汗による水分の補給が必要である。睡眠時、入浴時にも発汗する。就寝前、起床時、入浴前後にコップ一杯(約200ml)の水分を補給する。日中はコップ半分程度の水分を定期的(1時間程度)に補給する。のどの渇きを感じる前に水分補給を心掛ける。特に高齢者は口渇感等の感覚が衰えており、十分に注意する必要がある。
- 運動時や作業時の補給：水分の補給量は体重減少量の7~8割程度が目安となる。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意する。大量に発汗する運動時

- や作業時には水分と同時に塩分補給が重要である。0.2%程度の塩分を含む水分を補給するよう心掛ける。
作業前：コップ1~2杯程度の水分・塩分を補給する。
作業中：コップ半分~1杯程度の水分・塩分を20~30分ごとに補給する。
作業後：30分以内に水分・塩分を補給する。
3. 飲酒時の補給：アルコールは利尿作用が強く、飲酒量以上の水分を排泄するので、飲酒後は水分を十分に補給する。
4. 空調装置使用時の補給：室内は空気が乾燥することから、気がつかないうちに脱水が生じる。こまめに水分を補給する。

8-4. 特に注意を要する事項

以下の1~8に該当する場合は、特に注意が必要であり、温度基準1段階上の区分を適用する。本人のみならず、周囲の人々の注意も必要である。

- 幼児・学童は体温調節機能が未発達であり、適切な水分・塩分の補給は保護者によって行われるため、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。
- 65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者は発汗能や口渇感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。
- 肥満者は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。
- 仕事や運動(スポーツ)に無理をしすぎる人、頑張りすぎる人は熱中症を発症しやすい。
- 基礎疾患(高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など)のある人、寝たきりの人。熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人。抗コリン作用のある薬(鎮痙薬*、頻尿治療薬*、パーキンソン病治療薬*、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬)は発汗抑制を来す可能性がある。利尿剤は脱水を来たしやすい。興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬*は体温調節中枢を抑制する可能性がある。
* 医薬品添付文書に、「発汗(あるいは体温調節中枢)が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」との記載のあるもの。
- 発熱、下痢、二日酔い等、体調不良の場合は発症しやすい。
- 農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う場合。
- 急激に高温となった場合。例えば6月以前。また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動(涼しい場所から高温の場所へ)の場合および気象変化などで急激に高温となった場合など。

特殊な場合として、乳幼児の自動車内放置事故による熱中症は、保護者の不注意等の要因によって多く発症する。停車中の自動車では車内の温度は、数分で40℃以上になることがある。エンジンをかけ、クーラーをつけていても、何かの拍子で切れることもあるので、季節にかかわらず、短時間であっても、絶対に車内に子どもだけを残さないことが大切である。

9. 仕様

測定項目	： 気温、相対湿度
表示範囲	： 気温(TA) ： -12.0~72.0℃ ： 相対湿度(RH) ： 0.0~99.9%RH WBGT ： -2.0~60.0℃
精度保証測定範囲	： 気温 ： 0.0~55.0℃ 湿度 ： 20.0~90.0%RH
最小表示	： 0.1℃/0.1%RH
測定精度	温度(TA) ： ±1℃(0~50℃)、±2℃(50.1~55.0℃) 相対湿度 ： ±5%RH(30~70%RH)、±10%RH(30~70%RH 以外の測定範囲)、25℃時
アラーム設定範囲	： 気温：-10.0~70.0℃ 湿度：5.0~95.0%RH WBGT 指数：0.0~60.0℃
ブザー音量	： 約65dB(10cm離れて)
センサ	気温(TA) ： サーミスタ 相対湿度 ： 静電容量式
電源	： 単3形乾電池3個
電池寿命	： 約1年(アラーム動作なし、連続動作、アルカリ電池使用時)
動作温湿度	： 0~55℃、0~90%RH(ただし、結露しないこと)
保存温湿度	： -10~55℃、0~95%RH(ただし、結露しないこと)
外形寸法	： 91(W)×110(H)×30(D)mm(突起部含まず)
質量	： 約200g(電池含む)
標準付属品	： 取扱説明書、単3形乾電池(モニター用)